

# Notebookソフトウェアを使った 電子教材の作り方



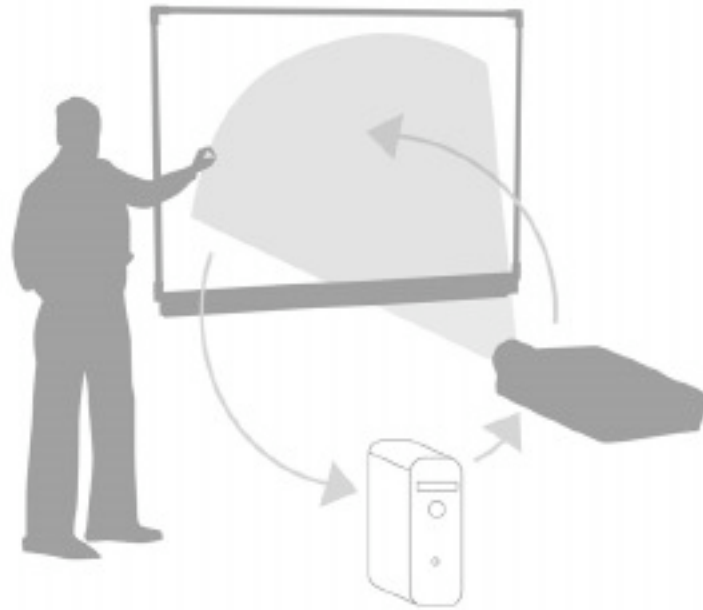
# 事前準備

スマートボードには、別途プロジェクターとPCが必要です。

パソコンとスマートボードは、USBで接続します。パソコンの外部モニタ出力にプロジェクターを接続しスマートボードに投影します。

USBケーブル 4色のスタイラス 1個のイレーサー、ソフトウェア(CD-ROM)が付属しています。

(フロアスタンドはオプションです。)



前面投影型（フロントプロジェクション：左はSB680/660とオプションスタンドFS670）、

# 最初にNotebookで新しいページ開きます。

A.オブジェクトを  
使って授業を進める

A-1 電子黒板のオブジェクトを  
編集してみましょう。

A-2 電子黒板に手書きしてみ  
ましょう。

A-3 オブジェクトを活用して  
問題を作りましょう。

A-4.スクリーンシェードを活  
用してみましょう。

E.講義の内容を  
記録してみよう。

B.教材のスキャン  
から始める

B-1.Notebookにスキャナー  
から画像を読み込みます。

B-2 スキャンした教材を  
キャプチャします。

E-1.SMARTレコーダー  
を使ってみましょう。

E-2.ビデオファイルを  
登録してみよう。

C.素材を使って  
授業を進める

C-1.ギャラリーを使って  
授業を進める

C-2.インターネットを  
使って授業を進める

C-3.動画を使って  
授業を進める。

D既存の教材を  
利用する

D-1.プリントキャプチャを使っ  
てファイルをインポート

D-2.PowerpointをNotebookに  
変換してみましょう。

D-3.Excelの教材に手書き  
入力して保存してみましょう。

D-4.Wordの教材に手書き  
入力して保存してみましょう。

## A.オブジェクトを使って授業を進める

SMART Notebookでテキスト、表、線、図形、アニメーションを含むファイルを作成してみましょう。こうしたオブジェクトを使って移動や操作を自由におこなうことで生徒の興味を引きコメントを手書きで書き込む事ができます。

A-1 電子黒板のオブジェクトを編集してみましょう。

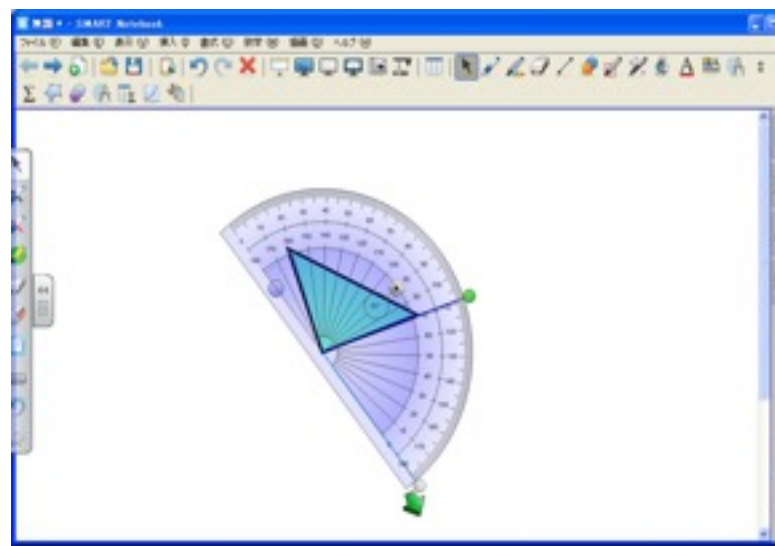
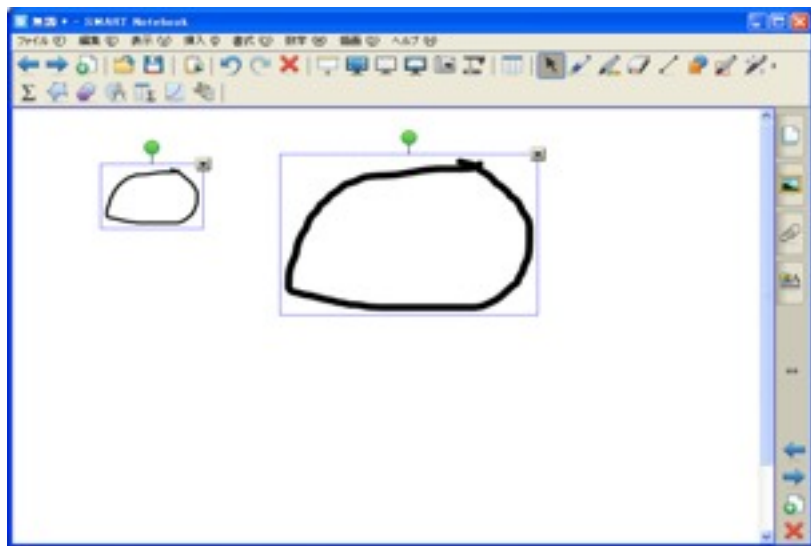
A-2 電子黒板に手書きしてみましょう。

A-3 オブジェクトを活用して問題を作りましょう。

A-4.スクリーンシェードを活用してみましょう。

# A-1 電子黒板のオブジェクトを編集してみましょう。

- (1) 作業エリアには現在のページが表示され、ページのオブジェクトを作成、編集、操作が可能です。
- (2) ページソーターは現在のページのサムネイルを表示し、ページの整頓と移動を可能にします。
- (3) ギャラリーにはクリップアート、背景、Notebookファイルが含まれています。
- (4) プロパティタブは現在選択されているページのオブジェクト属性の変更を可能にします。  
例えば図形を選んだ場合、プロパティタブは塗りつぶしや線種やオブジェクトアニメーションの変更を可能にします。



[👉メニューに戻る](#)

## A-2 電子黒板に手書きしてみよう。

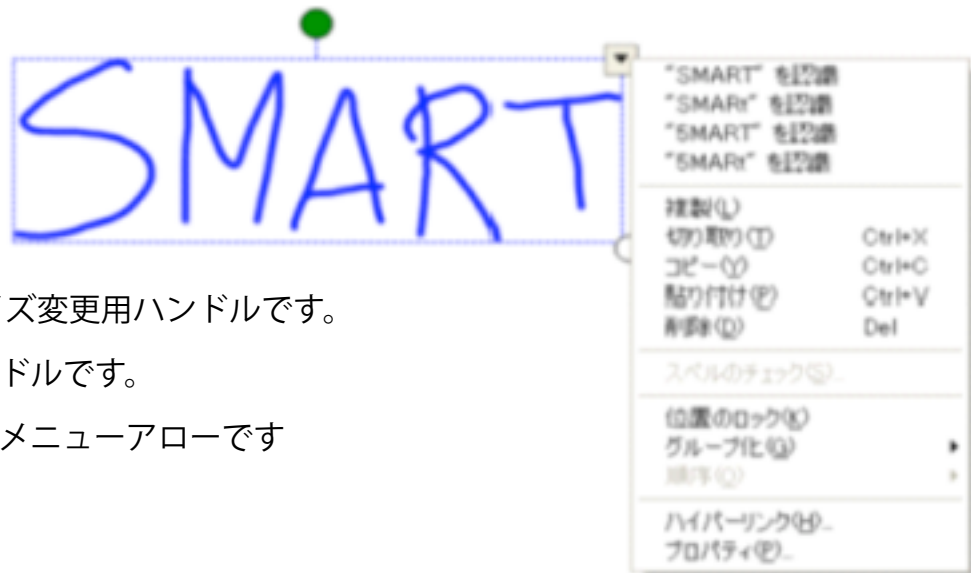
(1) Notebook ソフトウェアで手書き文字をテキストオブジェクトに変換します。

(2) 板書内容は、ページ毎にサイドソーターに自動保存されます。

通常の板書が電子黒板の上にあります。

(3) キャプチャしたイメージを、「オブジェクト」として、新しいページにドラッグ&ドロップして、位置を決めます。手書き文字や、写真は「オブジェクト」なので、ポジションの移動、大きさを変更は自由にできます。

(4) 右列のサイドソーターにページ毎に自動保存されます



オブジェクトの下部右隅の白い円はサイズ変更用ハンドルです。

オブジェクトの上の緑の円は回転用ハンドルです。

オブジェクトの上部右隅の下向き矢印はメニューアローです

[👉メニューに戻る](#)

# A-3 オブジェクトを活用して問題を作りましょう。

## 英語のテスト

1. ( )の中に下から1語を選んで入れなさい。

- (1) I look forward to ( ) you soon.
- (2) I am very much interested ( ) English.
- (3) Do you want to go home? Yes, I ( ).
- (4) Have you ever been ( ) Paris?
- (5) I ( ) very disappointed to know it.
- (6) I am going to ( ) the Cabinet tomorrow.

am

is

do

to

in

visit

seeing

問題文（黒字）はロックをかけて固定し、答えの入力文字（赤）を移動して埋め込みます。

手書き文字だけで作成する場合「漢字を作ろう」を作成しましょう。

本 女 又 力  
心 左  
口 イ 黄  
立 右  
目 貝  
田 木 十  
イ → イ

まず「人べん」を手書きし  
その後活字化させてから、  
ロックします。

[👉メニューに戻る](#)

女 → 女  
又 → 又  
左 → 左  
力 → 力

つくり、を数個作成しましょう。  
これらの文字は自由に動かせるように  
ロックは外しておきます。

1) 選ぶ単語が入力文字で「オブジェクト」になっているので、移動して文章を作っていきます。

私はロンドンに行ったことがあります。

( I have been )  
been have I to London. You

A diagram illustrating the process of moving selected text. The top line shows the phrase "( I have been )" in blue. Red dashed arrows originate from the words "I", "have", and "been" and point to the words "been", "have", and "I" in the second line. The second line also includes the words "to London. You" in blue.

2) 手書き英文字をテキストに変換できます。英語の授業に有効です。

Beautiful Japan

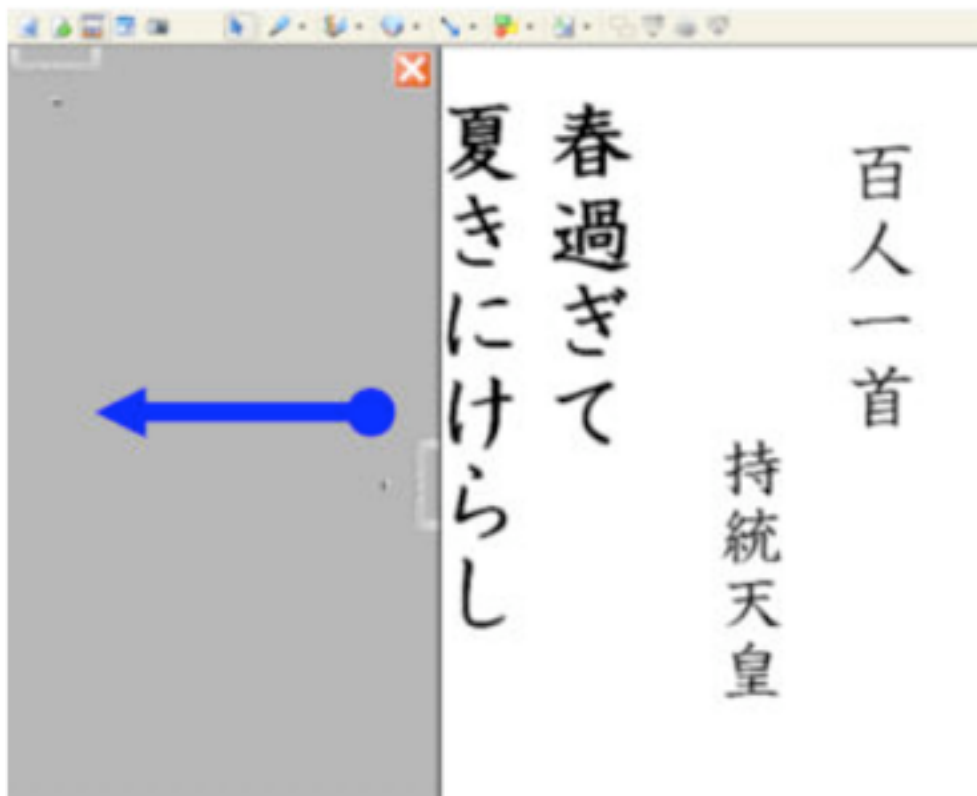
A sample of handwritten cursive text in blue ink that reads "Beautiful Japan".

Beautiful Japan

A sample of printed text in red font that reads "Beautiful Japan".

# A-4 スクリーンシェードを活用してみましょう。

スクリーンシェードを使用すると、スクリーン上の内容を表示するときが来るまで隠しておくことができます。隠しているスクリーンを表示するには、ハンドルをスクリーンの上下または左右からドラッグします。



A B C D

A=スクリーン・シェイド

B=全画面表示

C=背景を透明化、

D=2画面表示

アイコンAをクリックすると画面全体に幕がかかります。

任意のディンプルをグリップしながら上下または左右に動かすと幕が動きます。

## B.教材のスキャンから始める

教材をスキャナーで読み込んで、画像の上に手書き文字を書き込むことができます。これにより、面倒な板書の作業を省くことができます。生徒が見ている教材と同じ画面を「スマートボード」に投影し、画面全体を指で上下させ、見せたいところに移動し、手書きを加えるなど効果的な授業ができます。

B-1.Notebookにスキャナーから画像を読み込みます。

B-2 スキャンした教材をキャプチャします。

### 注意

SMART Notebook ソフトウェアにスキャンさせる前にコンピュータにスキャナーのドライバーとソフトウェアをインストールしてください。コンピュータとスキャナーを接続している場合、ページにスキャンからの画像を挿入することができます。

# B-1 Notebookにスキャナーから画像を読み込みます。

スキャナーから画像を挿入するには

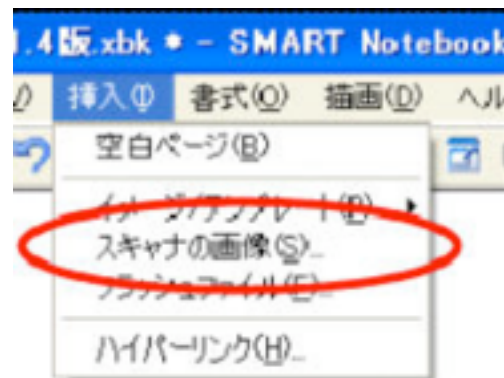
## (1) 挿入 > スキャナーからの画像を選択

スキャンされた図のダイアログが表示されます。スキャナに教材のページを開いてセットします。

(2) リストからスキャナーを選択します。

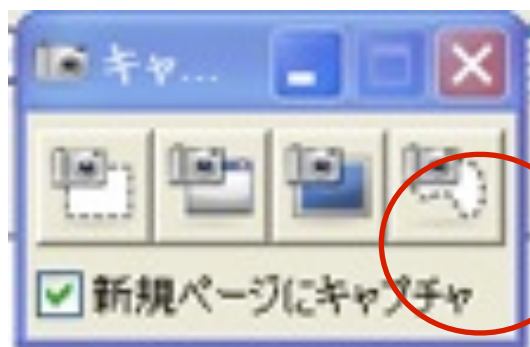
(3) スキャンをタッチします。

インストラクションに従ってスキャンを始めます。



## B-2 スキャンした教材をキャプチャします。

- (1) 全体をスキャンした教材から、「部分キャプチャ」したい写真やイラストを選びます。
- (2) キャプチャ（カメラ）アイコンをクリックします。
- (3) 「新規ページに保存」のチェックを外します。
- (4) スクリーンキャプチャをクリックし、範囲を指定してキャプチャします。




フリーハンドキャプチャ



フリーハンドでキャプチャしする部分のみがオブジェクトとして  
自動保存されます。Notebookに自動保存します。



エリアキャプチャ

 メニューに戻る



Windowsキャプチャ



全画面キャプチャ

## C.素材を使って授業を進める

ギャラリーには授業で使うクリップアート、背景、マルチメディアコンテンツ、Notebookファイルとページが含まれており、このコンテンツのプレビューイメージを表示することができます。

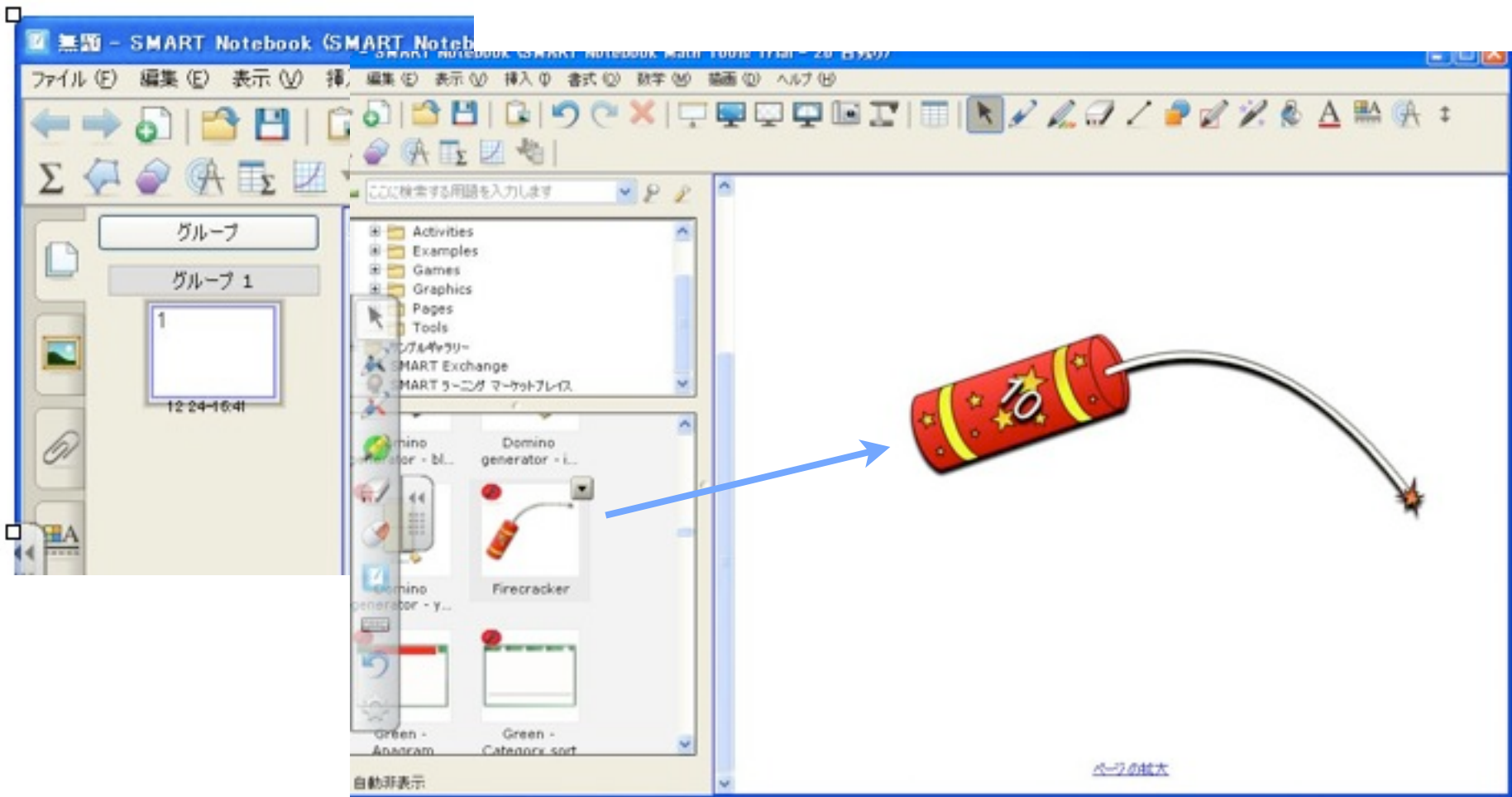
ギャラリーはSMART ラーニングマーケットプレイスや他のオンラインリソースへのアクセスを可能にします。またSMART ビデオプレーヤーを使用すると、ビデオを再生したりパソコンで再生したビデオにメモを作成したり、作成したメモを Notebook ソフトウェアに取り込むことができます。

### C-1.ギャラリーを使って授業を進める

### C-2.インターネットを使って授業を進める

### C-3.動画を使って授業を進める。

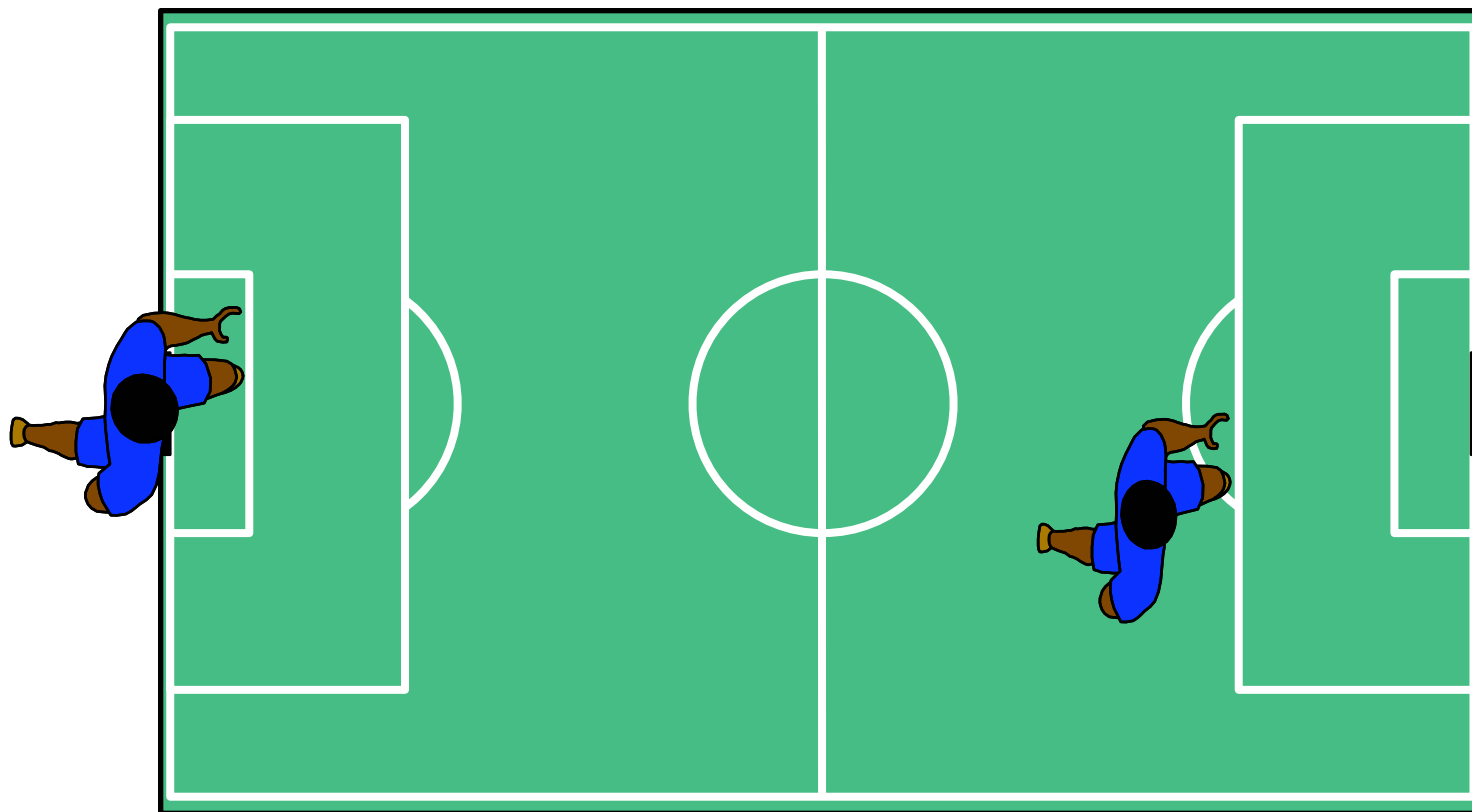
# C-1 ギャラリーを使って授業を進める。



(1) ギャラリーの素材を使用した自主作成した副教材を示します。地図も国旗もギャラリーからドラッグ&ドロップします。。

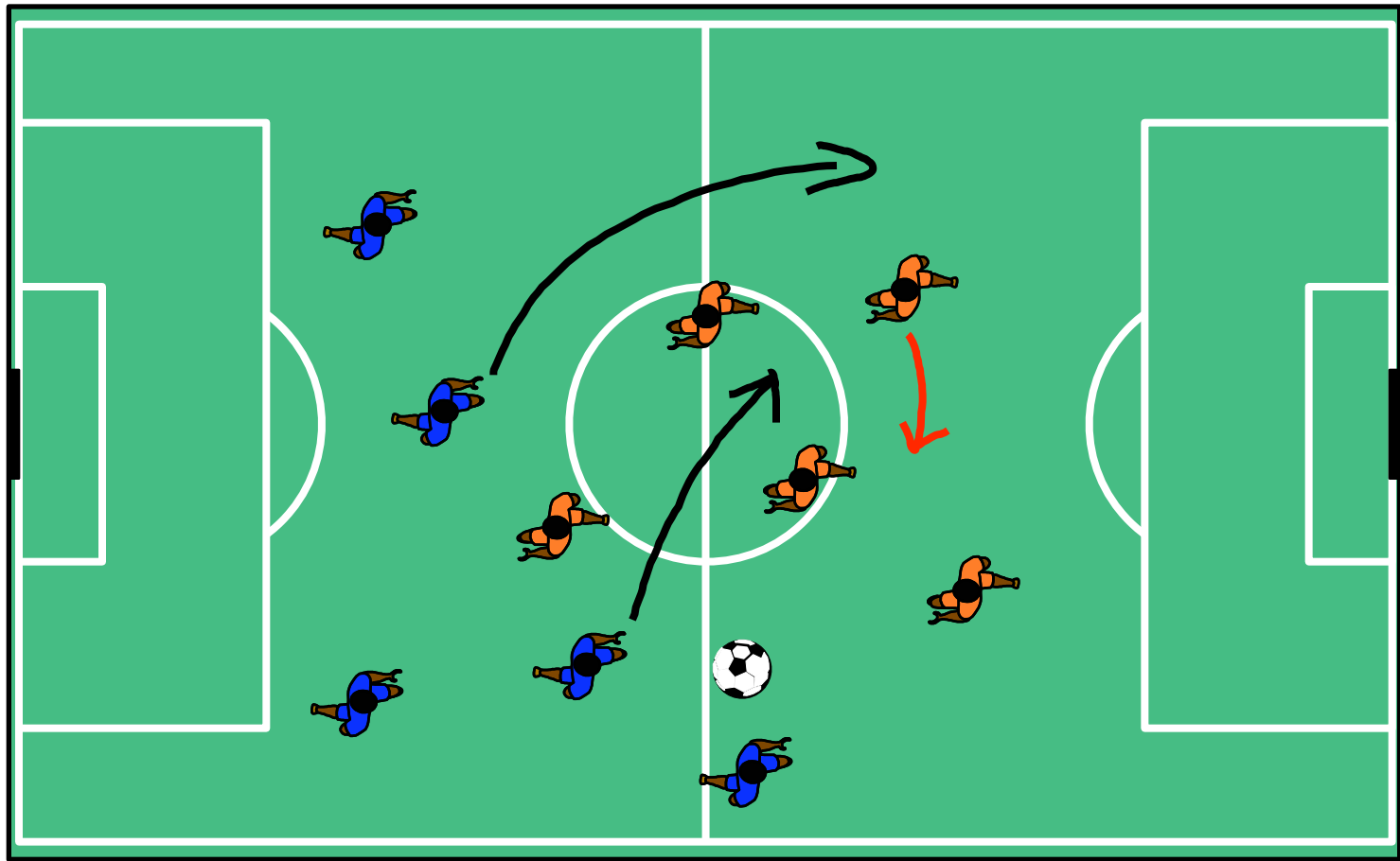
[👉メニューに戻る](#)

## NOTEBOOKのギャラリーを利用してサッカーの作戦会議



(1) ギャラリーの「教育者向け基本グラフィックス」から「スポーツとレクリエーション」でサッカーコートを選択。「画像と背景」より選手を選択します。

(2) 選手はコピーを使って二人出す。ユニフォームの色をチームによって変えます。



選手の右肩メニューより「無制限のcloner」を選択し、必要人数分をドラッグします。  
選手の右上のメニューから「プロパティ」を選択しユニフォームの色を決めます。  
その後180度回転させて敵味方に分けます。。

## C-2 インターネットを使って授業を進める。



インターネットからパリのルーブル美術館のホームページで有名な「モナリザ」を紹介します。

(1) 「モナリザの微笑」をインターネット上のサイトから持ってくる場合

[http://hw001.gate01.com/kudohiro/favorites/Mona\\_Lisa.jpeg](http://hw001.gate01.com/kudohiro/favorites/Mona_Lisa.jpeg) をアクセスします。

(2) Notebookアイコンの**その他のSMARTツール**を選択。その中の「スクリーンキャプチャーツール」を選択すると、アイコンが表示されます

(3) 4つのいずれかを選択して画像をキャプチャーすると、自動的にNOTEBOOK上に貼り付けられます。

## C-3 動画を使って授業を進める。

- (1) ようこそセンターのSMARTビデオプレイヤーのアイコンをクリックすると、SMARTビデオプレイヤーが起動します。
- (2) ファイル形式が.avi,.mpg,.wmv等の動画ファイルをドラッグ&ドロップしてSMARTビデオプレイヤー画面に移動します。
- (3) ドラッグ&ドロップした動画ファイルが再生されます。




[👉メニューに戻る](#)

# 動画に書き込みをして説明します。


(1)スマートボードのペンを取り上げると、動画が一時停止します。

(2) ペンで画面に手書きができます。

(3)  をクリックすると全画面がキャプチャできます。



ビデオが始まって、止めたい箇所でペントレイからペンを取り上げるとビデオは一旦停止します。  
その時点で文字を書き込むことができます。

 [メニューに戻る](#)

# ビデオ・プレイヤーの設定を変えてみましょう。



(1) SMART ビデオプレイヤーで**設定 > ビデオプレイヤー設定**を選択し設定のダイアログが表示させます。

(2) ペントレイペンを取り上げるたびに、ビデオを自動的に一時停止するには**ツールのリフト時の一時停止する**を選択します。

(3) SMART ビデオプレイヤーに上書きしたデジタルノートにフェード効果を適用するには**書き込みのフェードアウト**を選択します。

(4) フェードアウトの効果時間を設定するには**開始までの時間**と**継続時間**リストで時間を入力します。

(5) 全画面表示で何秒後かにビデオプレイヤーツールバーを隠すには**全画面表示モードでツールバーを表示しない**を選択します。

## D既存の教材を利用する

テキストや図やPOWERPOINT等の教材を以下の方法でNotebookに変換することができます。  
既に作成した素材から簡単にNotebookファイルを作成できます。

D-1.プリントキャプチャを使ってファイルをインポート

D-2.PowerpointをNotebookに変換してみましょう。

D-3.Excelの教材に手書き入力して保存してみましょう。

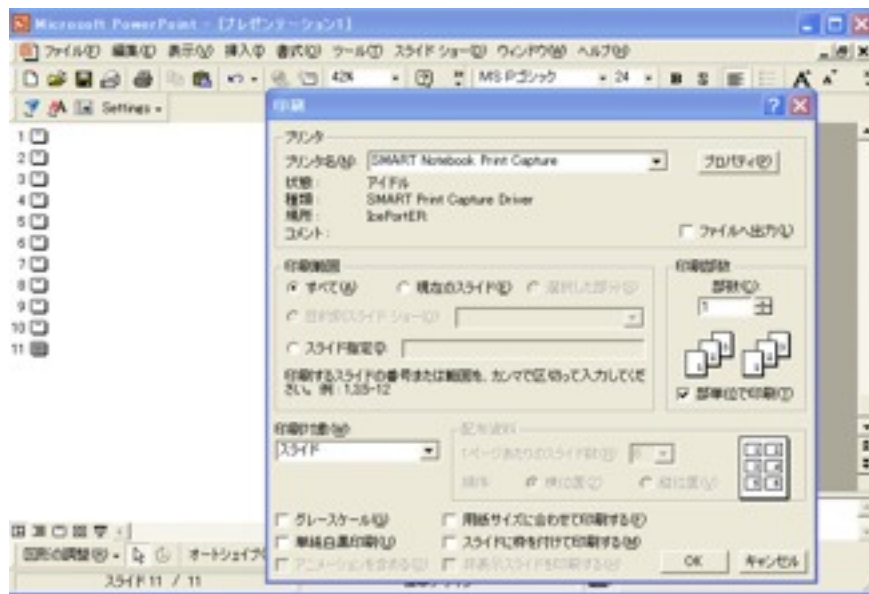
D-4.Wordの教材に手書き入力して保存してみましょう。

“互換性があるのはMicrosoft社のアプリケーション・ソフトウェアです。  
「一太郎」等のソフトウェアではこの機能は無効になります。”

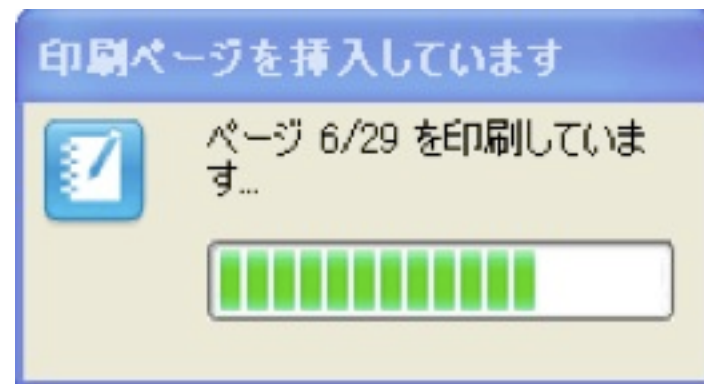
# D-1 プリントキャプチャを使ってファイルをインポート

SMART Notebookプリントキャプチャでファイルをインポートするには

- (1) Powerpoint上で**ファイル** > **印刷**を選択します。印刷ダイアログボックスが表示されます。
- (2) プリンターリストから**SMART Notebook プリントキャプチャ**を選択します。
- (3) ページオリエンテーションとグラフィックの解像度を選択してOKをクリックします。
- (4) ページ範囲を選択して**OK**をクリックします。



notebookファイルが開いていれば  
Powerpointの各ページは現在notebook  
ファイルのページの後に表示されます。  
このプロセスには数分かかります。



[メニューに戻る](#)

## D-2 PowerpointをNotebookに変換してみましょう。

(1) SMART Notebook windowで **ファイル** > **インポート** を選択します。

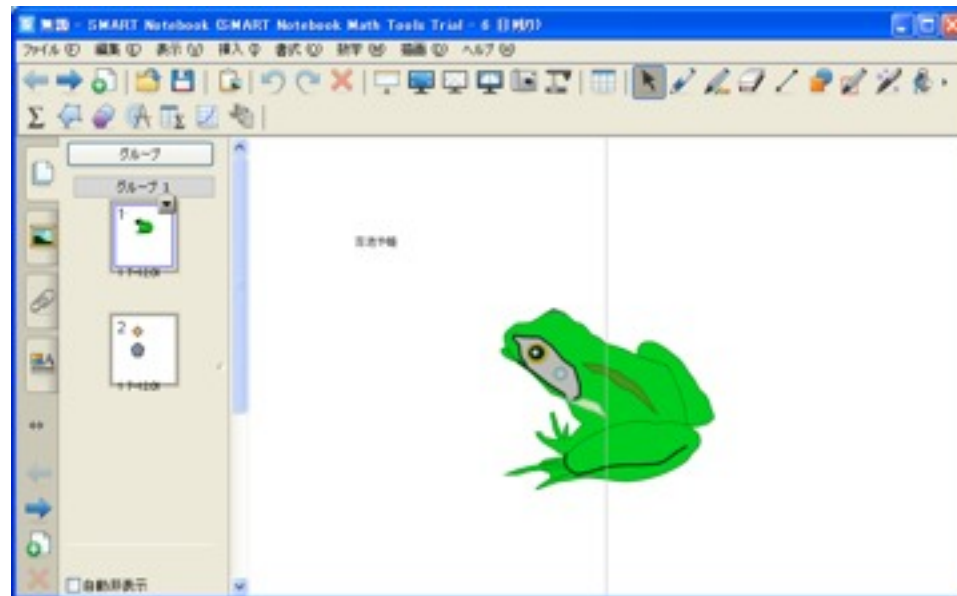
ダイアログボックスが表示されます。

(2) 参照してインポートしたいPowerPointファイルを選択します。

(3) notebook ファイル上で PowerPoint ファイルを開きます。

### 注意

グラディエーション、パターンやイメージ効果がインポートできない場合もあります。



[👉メニューに戻る](#)

## D-3 Excelの教材に手書き入力して保存してみましよう。

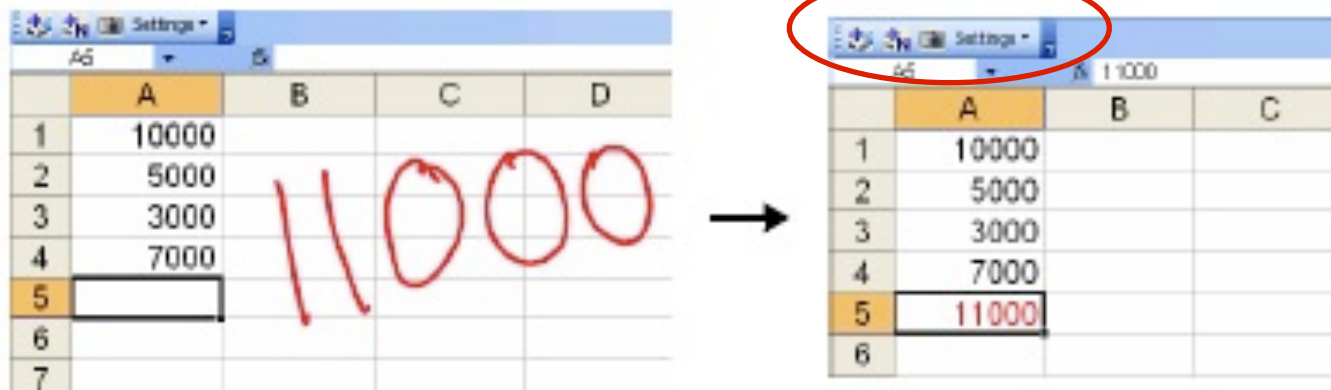
(1) Excelの「表」でペンを取り上げると（手書き動作）、アイコンが上のタスクバーに現れます。

(2) Excelの「セル」を選び、画面の任意の場所に、「11000」と直接手書きします。

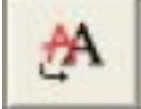
Awareのアイコン  をクリックします。

(3) ExcelのA5の「セル」に、テキストで「11000」と入力されます。

(注：英語の手書き文字は、英語に変換出ます。)



(1) グラフの上に、赤色のペンで手書きします。

(2) Awareのアイコン  をクリックします。

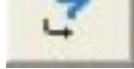
(3) Excelへの手書きが、Excelのファイル形式で直接貼り付けられました。




## D-4 Wordの教材に手書き入力して保存してみましよう。

- (1) Wordでは、ペンを取り上げると（手書き動作）、またはフローティングツールのペンを選ぶ（手書き動作）と「Awareツール」が表示されます。



- (2) Wordのページの上に、英数字を「手書き」します。  をクリックすると、英数字の手書きを「テキスト/活字」に変換します。

- (3) Wordのページの上に、任意の「手書き」をします。  をクリックします。

「手書き」がWordのページにdoc形式で「手書き」が貼り付け保存できます。

手書き文字の認識・変換（英語でも日本語でも）機能は、正しいテキスト文字を手軽に変換入力するのが目的です。確実に文字入力したい場合は、キーボードからの入力、漢字変換することをお勧めします。訂正が多いと時間のロスになります。

## E.講義の内容を記録してみよう。

SMART レコーダー を使うとインタラクティブスクリーンで行なった動作を記録できます。  
コンピュータにマイクロフォンが接続されている場合はナレーションも同時に記録します。  
レコーディングを作成するとSMART ビデオプレイヤー やウィンドウ・メディアプレイヤーの利用  
可能などのコンピュータでも再生可能です。必要であれば.SMART レコーダーは隠しておく事がで  
きますが引き続きSMART レコーダーアイコンを使ったメニューオプションにアクセスできます

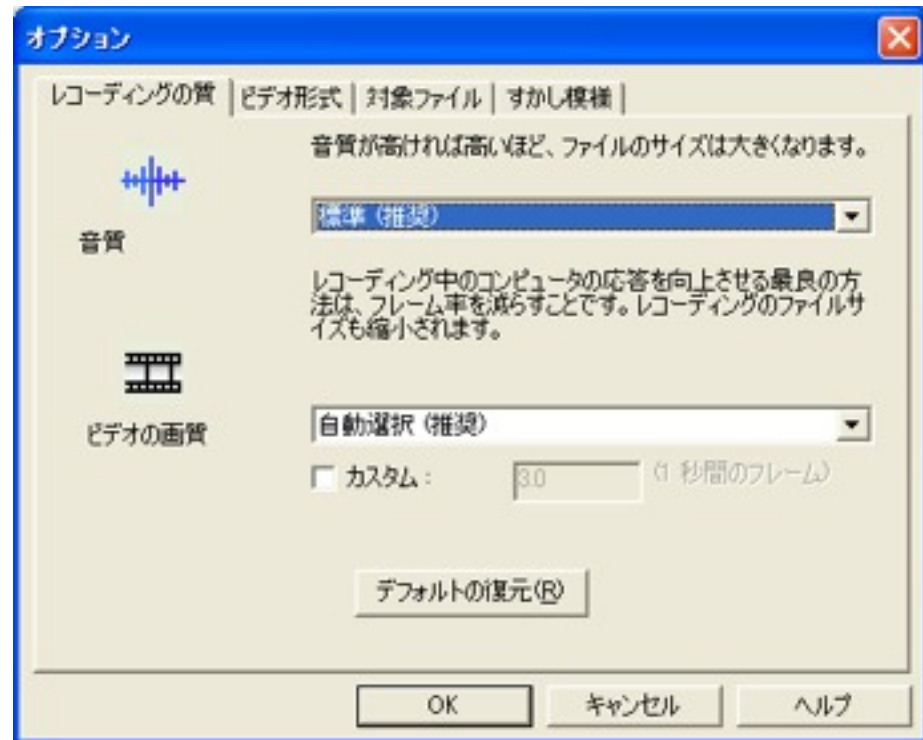
### E-1.SMARTレコーダーを使ってみましょう。

### E-2.ビデオファイルを登録してみよう。

# E-1 講義の内容を記録してみましょう。

講義の内容を記録するにはSMART レコーダーを使います。

画面の一部を記録するにはSMART レコーダーで**レコード**ボタンの次にある下向きの矢印をクリックします。**領域を記録**を選択して記録したいエリアを長方形で描画します。ウィンドウをレコーディングするにはSMART レコーダーで**レコード**ボタンの次にある下向きの矢印をプレスします。**ウィンドウを記録**を選択して記録したいウィンドウを選択します。

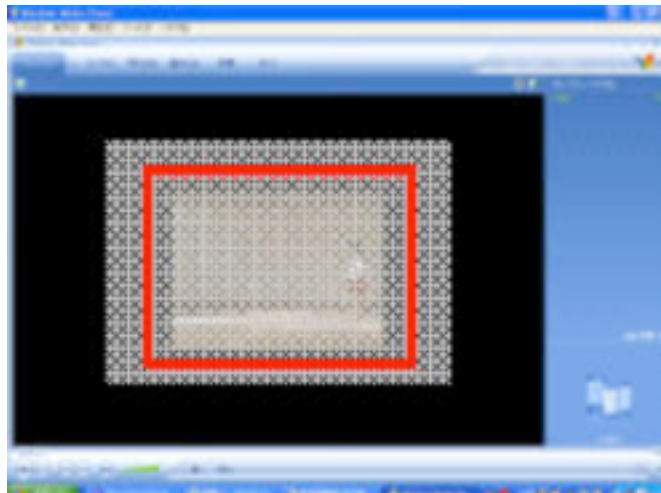


[メニューに戻る](#)

## E-2 保存したビデオファイルを登録してみましょう。

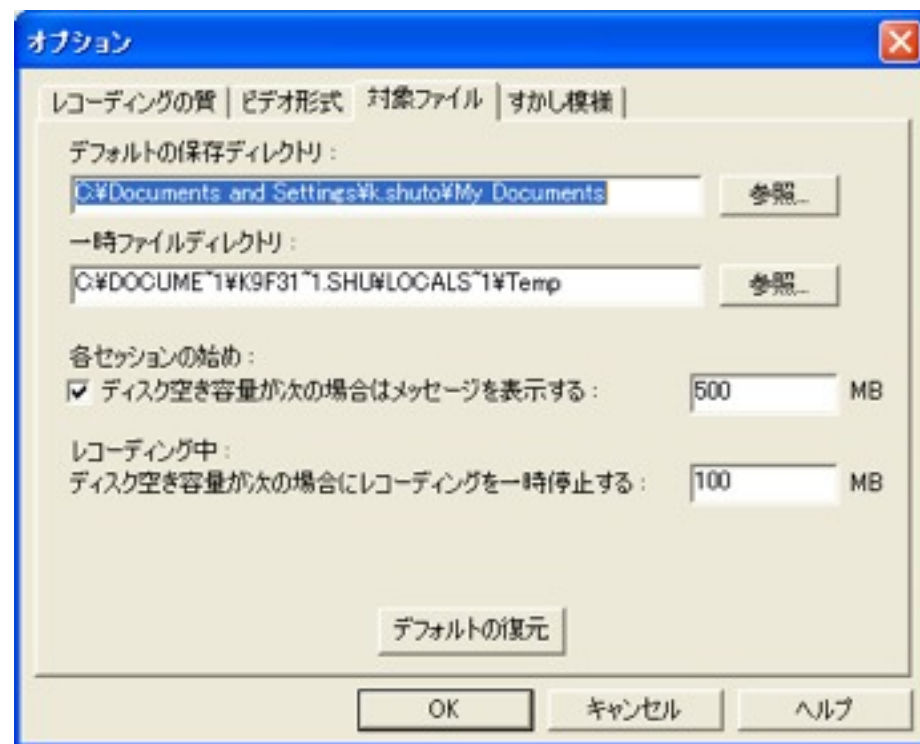
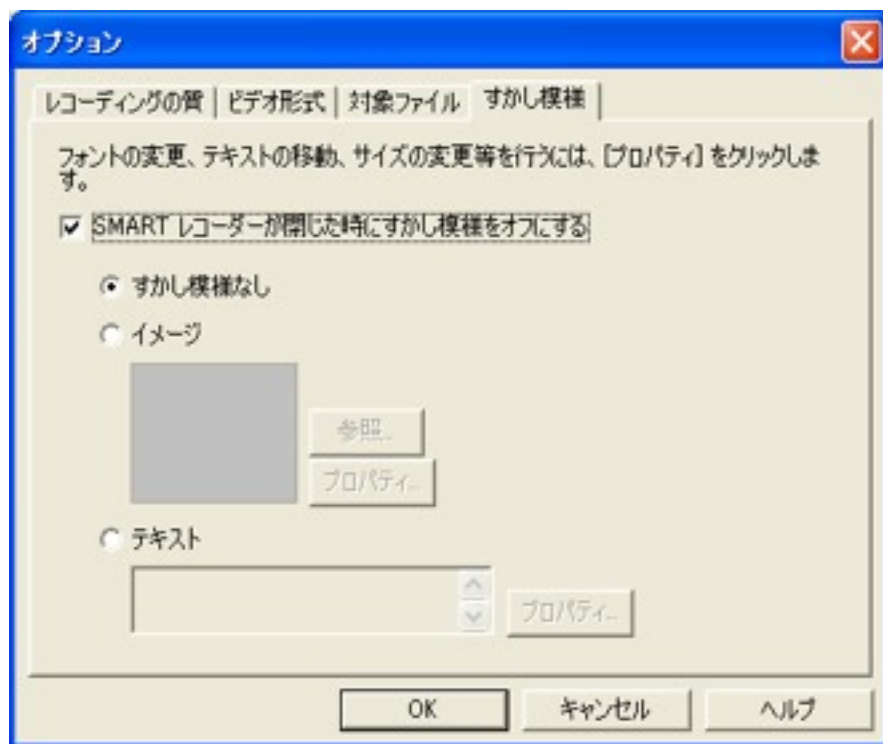
SMARTレコーダーによって講義内容を記録し.avi あるいは .wmv 形式でビデオファイルを保存します。また記録日時やロゴ（ウォーターマーク）等を追加することもできます。マイクロフォンが接続されている場合は音声も保存されます。

- (1) SMARTレコーダーを起動します。
- (2) 「動画」 (\*.mpg) を、Microsoftメディアプレイヤー等で「再生/一時停止」にします。
- (3) または、Webカメラ、デジタルカメラのスルーの画像(\*.mww) を表示します。
- (4) サイドソーターの「領域を記録」をクリックして、カーソルや指で範囲指定してます。記録する範囲が赤枠で表示されます。記録が開始します。



領域を記録

- (5) 「動画」を再生します。
- (6) 記録を止める箇所で「■」をクリックして停止します。
- (7) ファイル名をつけて保存します。
- (8) ビデオファイルは簡単にYoutube等に登録して共有することができます。



[👉メニューに戻る](#)